

総 括

代表幹事 岡村 勲

長時間、大会・シンポジウムにご出席いただきありがとうございました。本日は人形劇に始まり、シンポジウムまで実に充実した一日となりました。

あすの会は、司法上の権利の確立と被害回復制度の確立を求めて運動をして参りました。2002年には司法制度について、2004年には経済的補償制度についてヨーロッパで調査を行い、詳細な報告書を作成しました。行く先々に質問状を再三送るなど、調査には大変な準備を要しており、報告書の資料的価値は多くの人から認められています。

調査に行った2004年には犯罪被害者等基本法が作られ、2005年1月には調査報告書を作成、そして同じ年に基本計画が作られ、さらにその後、被害者参加制度が作られ、あすの会にとっても忙しい日々でした。調査報告書は、内閣府に置かれた経済的支援に関する検討会でも活

用されています。

今、公訴時効の問題が残っていますが、やがてこれが解決すれば、犯罪被害者に関する司法の大きな柱はできたこととなります。

シンポジウムの基調報告にもありましたが、司法制度が完備されても、日々の生活に困る被害者を出しては意味がありません。被害者にとっては、何よりも食べていくことが大事なのです。今後、あすの会は経済的な補償問題について資源を投入したいと考えております。

最後に無償で講堂をお貸しいただき、職員の方にもご協力をいただきました三井不動産に心から御礼申し上げます。

本日は長時間お付き合いいただきありがとうございました。

10 周年記念大会 参加者のご意見

- 10年の歩みのご苦労と成果に深く敬意を表します。いまだ大きな課題が残っておりますが、今後の活躍を応援いたします。
- 10周年おめでとうございます。岡村幹事始め、幹事、会員の皆様の血のにじむような運動が日本を変え、また、新たに被害に遭う被害者がどれだけ助けられたことかと思うにつけ、「敬意」「感謝」、どんな言葉を尽くしても適当な言葉が見つかりません。タイムリーな課題を大変分かりやすく組み入れていただき、内容の濃い充実した大会でした。時効撤廃の問題や被害者の経済的回復について双方ともに一朝一夕には解決できる問題ではありませんが、諦めずに声を上げ続けることがいつか実を結ぶのだと信じています。
- あすの会創立以来10年間、被害者会員皆様の大変なご尽力によって、刑事司法制度が格段に正しい方向に導かれるようになったことは、一国民として本当に頭の下がる思いでいっぱいです。岡村先生は「明日は私達のような被害者が出なくて済むように、自分たちは法改正によって恩典を受けることはないけれども、明日に希望がもてるように『あすの会』と名付けました」と仰っておられたこと、とても感銘を受けました。ただ、まだまだ凶悪犯罪が日々のニュースで後を断たず、私達市井に暮らす国民にとっても『あす(は我が身)の会』という感じも致します。
- 今日の参加で一層被害者の立場や気持ちが理解できました。法の隙間も感じますし、社会の責任を感じます。来賓各氏の話も印象に残るものでした。時効問題も出てきていることに興味があります。世界的な動きになっているとは驚きです。刑事と民事の連動には感心しています。普段考えていたものです。
- あすの会10周年誠にありがとうございます。初めて参加させていただきました。最初の人形劇から素晴らしい内容でありました。これまでの皆様方のご苦労とご貢献に敬意を表します。あすの会の目的、行動等が単純・明確でわかりやすい。どうして10年間の短期間で素晴らしい成果を挙げられたのか、大きな参考になりました。心、魂、passionが根底にあり、それを礎としたのでしょう。今後の活躍と、関係団体との連携を強く望みます。